FORESTER SL　オプショングリル

取扱説明書

SubieCamp

LED COMPLETE GRILL MARKER

動画によるインストールガイド

SL フォレスターの純正グリルでの説明です。

取付上のご注意

・本書記載以外の取付方法による事故、および車両・製品の故障について一切責任を負いません。
・他の型式、車種には使用しないでください。
・製品の改造は行わないでください。
・取付け作業は必ずエンジンを停止し、パーキングブレーキを掛けた状態で行ってください。
・車両ボンネット内の板金エッジは非常に鋭利で、ケガの原因となるため、作業時は必ず手袋を着用してください。

安全上 / 使用上のご注意

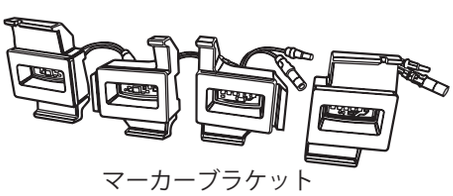
・本製品は 12V 車専用です。
・本製品は IPF 製マーカーランプ専用です。
・本製品の取り付けは原則としてお買い上げの販売店もしくは技術力のある専門店に依頼してください。

車検について

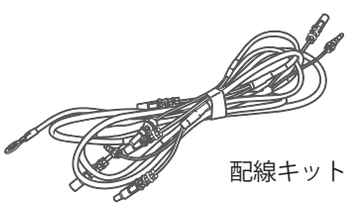
IPF 製マーカーランプとの組み合わせにより、
保安基準第 42 条「その他の灯火等の制限」に準拠しておりますが、
下記の取付け方をしますと車検不適合となります。
・マーカーランプが点滅、光度の増減をするような点灯接続をした場合。
(ターンランプ、ストップランプ、バックランプ、速度表示ランプ等に連動した接続)

国の行政機関である国交省の運輸支局と各ディーラーでは車検についての見解が異なる場合がございます。
見解の相違があった場合においては、弊社ではその責任を負いかねます。予めご了承ください。

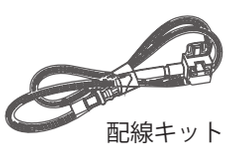
構成部品



マーカーブラケット
（マーカー組込み済み）

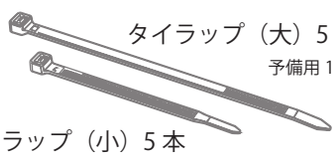


配線キット（長）



配線キット（短）

ケーブルタイマウント 4 個

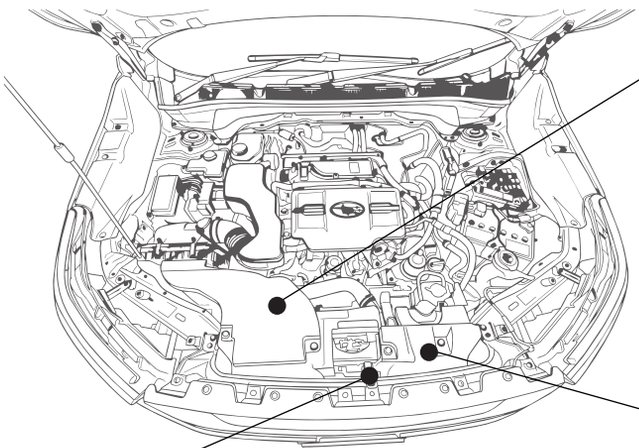


タイラップ（大）5 本
予備用 1 本

タイラップ（小）5 本

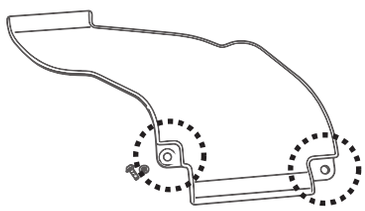
SLG の場合のみ必要な作業です。ただし SL5 の場合でも、手元のスペースを確保してゆとりをもって作業したい方はこちらの作業を推奨します。

①ボンネットを開け、イラストの各パネルを A→B→C の順番で外します。

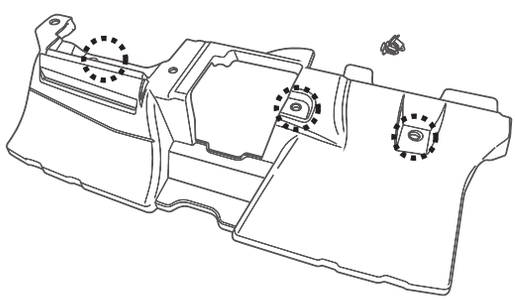


A: インテークダクト

のクリップ２箇所を外して、ダクトを取り外します。

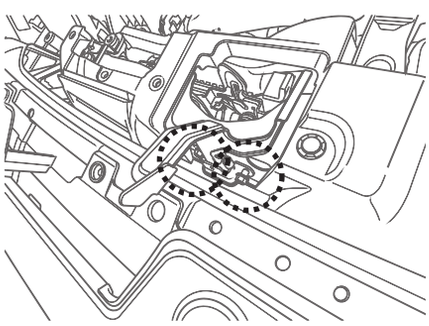


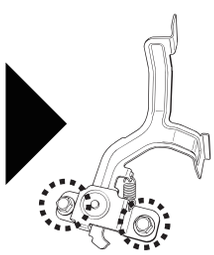
C: ブラケットグリル



のクリップ３箇所を外して、ブラケットグリルを取り外します。

B: レバーアッセンブリ フロントフード

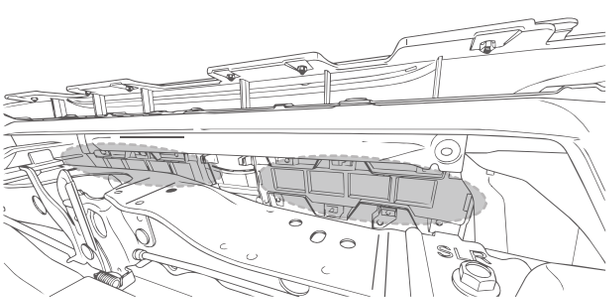


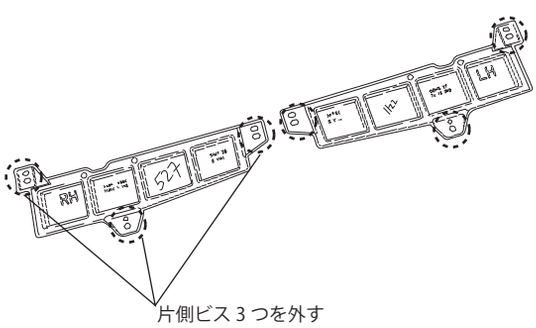


12mm

のボルト２箇所を外して、レバーアッセンブリを取り外します。
※ボルトを落下させないようにご注意ください。

②スペースが出来たグリルの裏側から、開口部を塞いでいるプレートのビス（片側 3 箇所）を外し、プレート本体（左右）を取り出します。



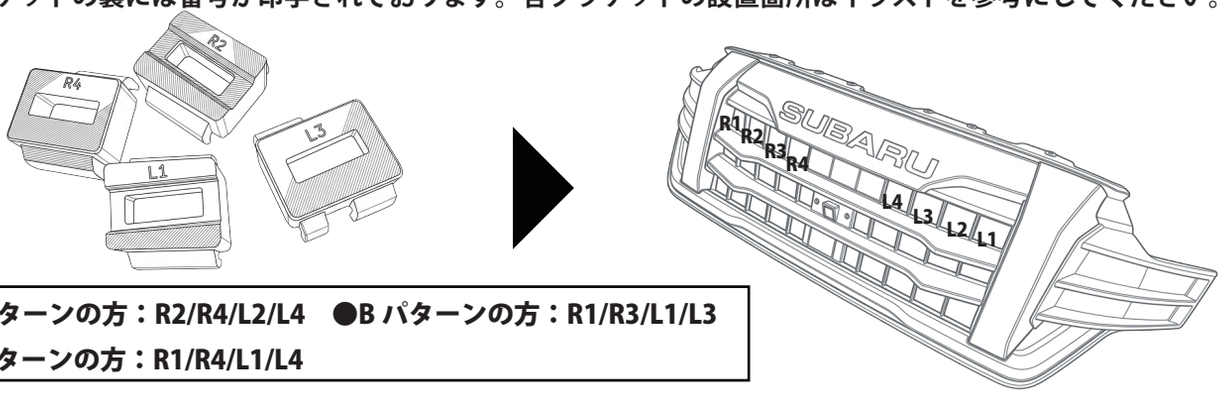


片側ビス３つを外す

※小さなビスのため、エンジンルーム下に落下させないようご注意ください。

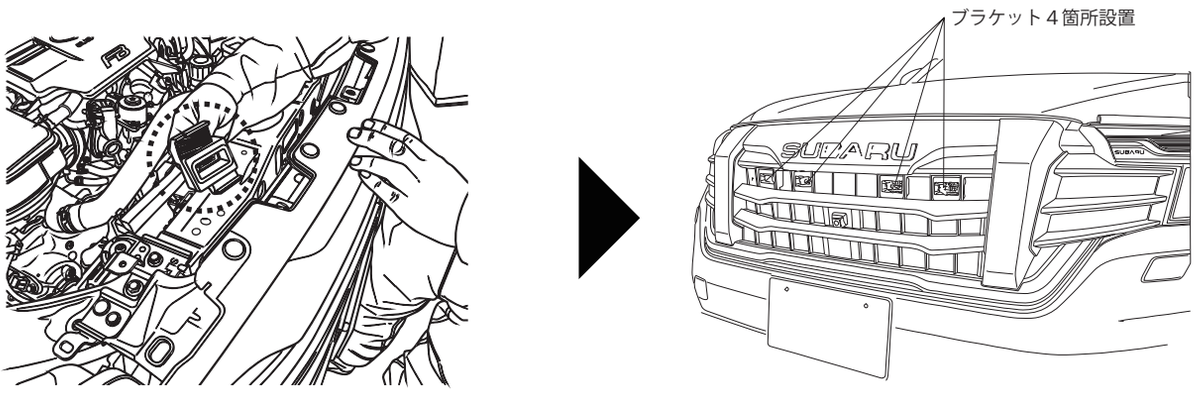
ここからは SLG・SL5 共通の作業手順です。

③各ブラケットの裏には番号が印字されております。各ブラケットの設置箇所はイラストを参考にしてください。



●A パターンの方：R2/R4/L2/L4　●B パターンの方：R1/R3/L1/L3
●C パターンの方：R1/R4/L1/L4

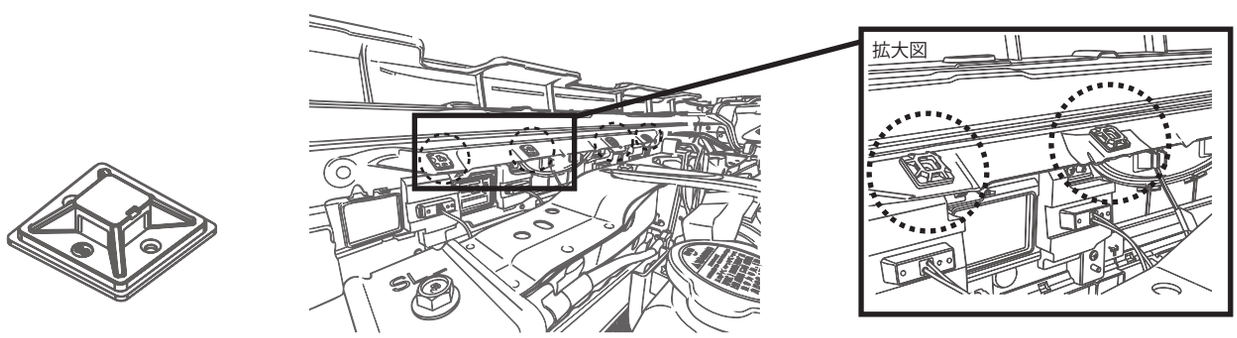
④ブラケットの両面テープの剥離紙を剥がして、グリル裏から開口部にブラケットを差し込み固定します。
※剥離紙を剥がす前に、一度該当する開口部に差し込んでフィッティングを確認してください。
※グリルの両面テープ設置面の油分や汚れを取り除いてください。



グリル裏側から各開口部にアプローチしてください。

※イラストは A パターンの設置箇所になります。

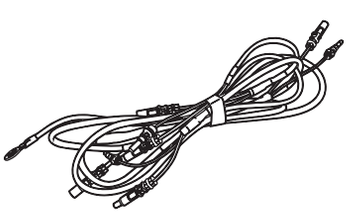
⑤付属のケーブルタイマウント（４個）をグリル裏側のブラケット設置面の上部の鉄板部分に設置します。



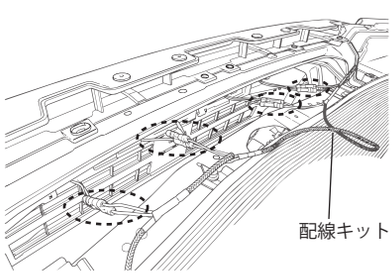
ケーブルタイマウント

設置面の油分やよごれを落としてください。

⑥配線キット（長）とグリルマーカー側のギボシ端子を接続します。
※端子の差し込みが不十分な場合、点灯不良の原因となります。しっかり差し込んでください。



配線キット（長）

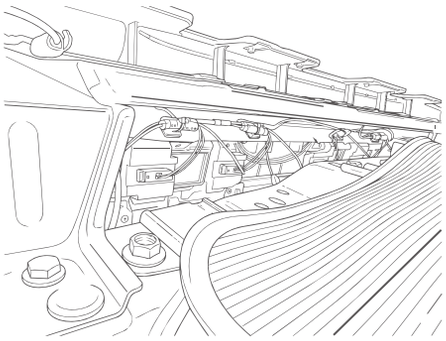


キボシ端子接続

防水スリーブ内のギボシ端子を
しっかり差し込んでください。

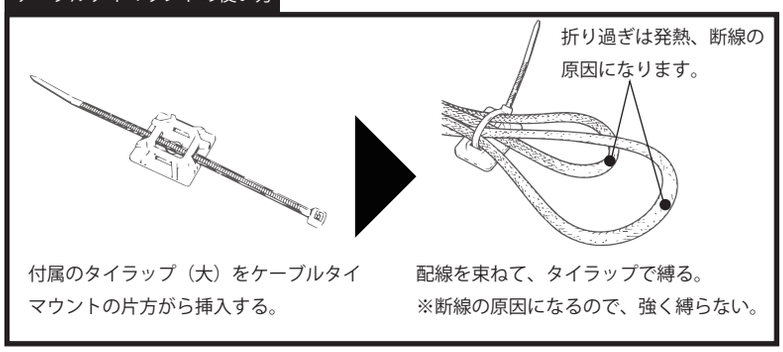
特に奥まで差し込んでいない場合、
点灯不良の原因になります。

⑦各マーカー間の余った配線を、⑤で設置したケーブルタイマウントと付属のタイラップを使って束ねます。



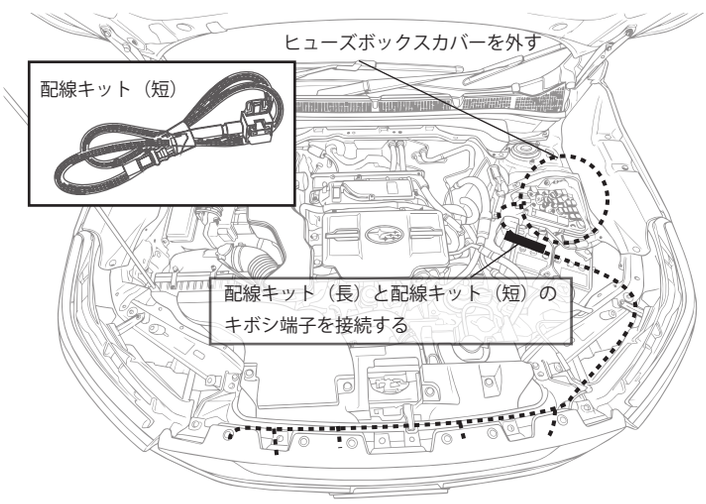
※配線をグリル正面から見えないように隠します。

ケーブルタイマウントの使い方



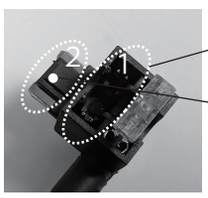
⑧配線キット（長）と配線キット（短）のキボシ端子を接続し、ヒューズボックス側まで引きまわします。

配線の引きまわしルートは、任意で行ってください。
要所でサービスホール等と配線を付属のタイラップ（小）で固定します。
また、配線があまった場合も付属のタイラップ（小）で束ねてください。



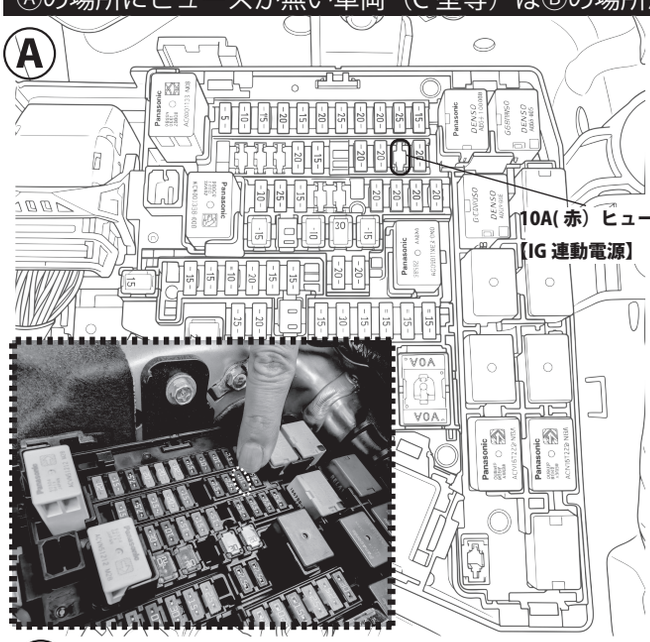
⑨ヒューズボックス内の該当するヒューズを抜き、配線キット（短）のヒューズ端子の空きソケットに差し込んだ後、抜いたソケットに端子を差し込みます。

注意：ヒューズを抜き差しする際は、必ずエンジンを切った上で作業を行ってください。

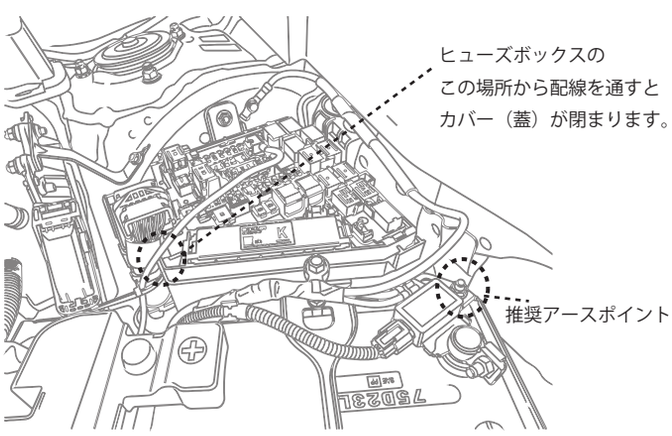


1：ⒶまたはⒷで抜いたヒューズを配線側の空きヒューズソケットに差し込む。
2：配線側の端子部分を、抜いた純正ソケット箇所に差し込みます。

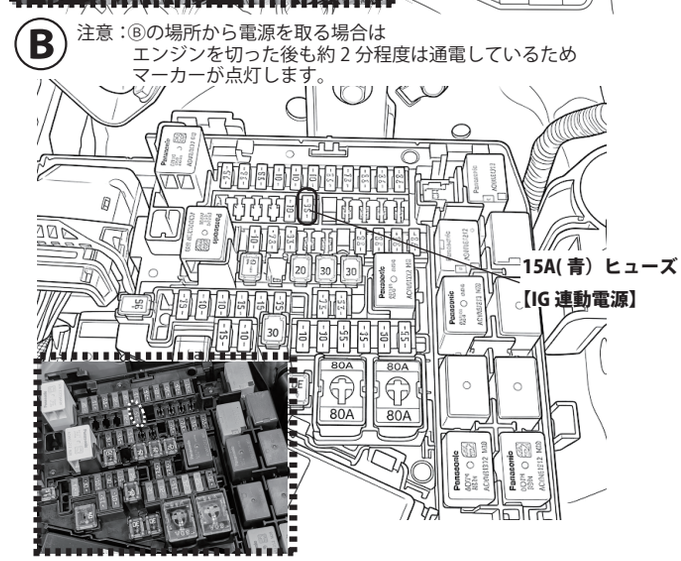
Ⓐの場所にヒューズが無い車両（C 型等）はⒷの場所から



⑩配線キット（短）の丸形端子をアースに接続します。



※アースポイントは任意ですが、⬚のバッテリーマイナス端子がお薦めです。



⑪点灯確認を行います。

その後、取り外した部品を戻して作業完了です。